

# 地震

## ●地震発生時から避難・避難後までの行動マニュアル。



### 最初の激しい揺れは約1分程度

#### 1 まず、身を守る

クッションや座布団などで頭を保護。机やテーブルの下へ。



#### 2 すばやく火の始末

ガスやストーブの火を消し、電気器具はプラグを抜く。

#### 3 非常脱出口の確保

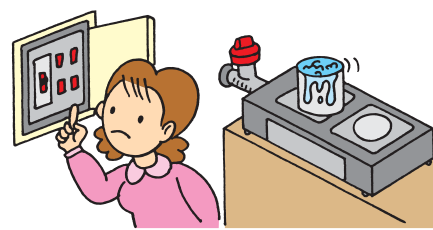
玄関、窓を開けて逃げ口を確保。



### 揺れがおさまったら家族の安全確認

#### 1 火元の確認

ガスの元栓を締め、ブレーカーを落とす。もし火が出ていたら、あわてずに初期消火を。



#### 2 家族の安全確認

倒れた家具の下敷きになっていないか確認。

#### 3 靴または底の厚いスリッパを履く

ガラスの破片や散乱物から足を守る。



#### 4 津波の危険地域はすぐ避難

### 余震に注意しつつ隣近所の安全確認

#### 1 隣近所への声かけ

けが人、行方不明者がいないかを確認する。



#### 2 火災時には協力して初期消火

大声で知らせ、消火器、バケツリレーなど近隣で協力して初期消火を。



### デマにまどわされず、正確な情報を収集

#### 1 正しい情報を聞く

ラジオ等で正確な情報を収集。役場、消防、警察、自主防災組織の情報を確認。



#### 2 電話は緊急連絡を優先

安易に電話をかけることは避け、安否の確認は「災害用伝言ダイヤル」等を活用する。

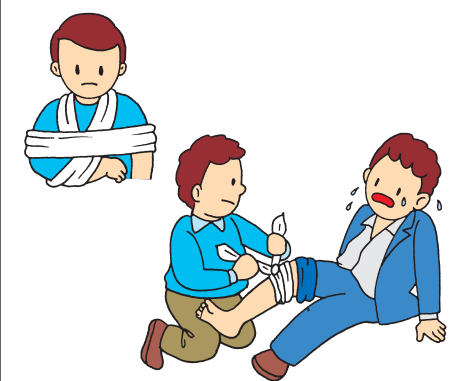


#### 3 災害時要援護者を支援

#### 4 家屋倒壊の危険があればすぐに避難

### 避難後は助け合いの心で行動を

#### 1 地域ぐるみで協力して応急救護の体制を

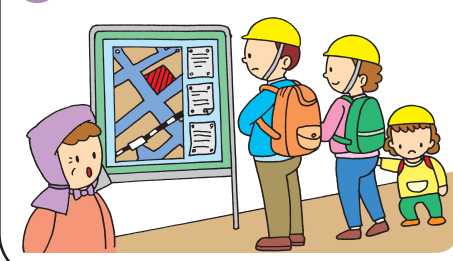


#### 2 倒壊した家やその危険性のある家には入らない

#### 3 水・食料の確保

いざというときのために、日頃から最低でも3日分の飲料水と食料の備蓄を。

#### 4 災害情報、被害情報の収集

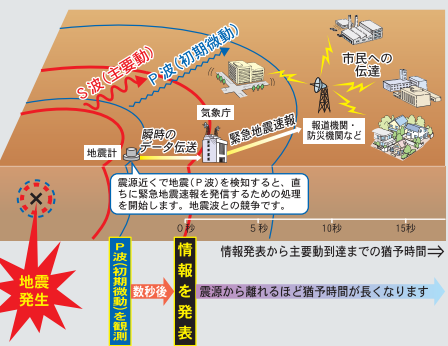


### 緊急地震速報

～2007年10月よりスタート～

#### 緊急地震速報のしくみ

緊急地震速報は、最大震度5弱以上と推定した地震の際に、強い揺れ(震度4以上)の地域の名前を強い揺れが来る前にお知らせするものです。



○「緊急地震速報」は、震源近くで地震(P波、初期微動)をキャッチし、位置、規模、想定される揺れの強さを自動計算します。地震による強い揺れ(S波、主要動)が始まる数秒～数十秒前に、素早くお知らせします。

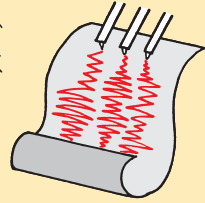
○ただし、震源に近い地域では、「緊急地震速報」が強い揺れに間に合わないことがあります。

「緊急地震速報」についてのお問い合わせ先  
気象庁地震火山部管理課  
電話：(03)3212-8341(代表)  
気象庁ホームページ  
<http://www.jma.go.jp/>  
緊急地震速報について  
<http://www.seisvol.kishou.go.jp/eq/EEW/kaisetsu/index.html>

### こんな現象が起こる!

## 地震の震度

震度0 地震計のみで観測でき、人体には感じない。



震度2 吊り下げ型の電灯や障子などがわずかに揺れる。



震度4 電線が大きく揺れ、花瓶など座りの悪い物が倒れることがある。



震度5強 テレビが台から落ち、タンスや自動販売機が倒れることがある。



震度6強 立っていることが出来ず、固定していない重い家具のほとんどが移動、転倒する。



震度1 屋内にいる人の一部がわずかな揺れを感じる。



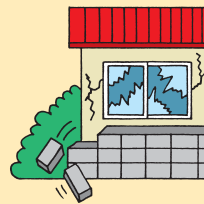
震度3 電線が少し揺れ、棚の食器が音を立てることがある。



震度5弱 食器類や書籍が落ち、窓ガラスが割れることがある。



震度6弱 かなりの建物で、壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する。



震度7 耐震性の高い住宅でも、傾いたり、大きく破損するものがある。

